

日本点字事情 かわら版

横浜市立
盲特別支援学校
点字研究部
文責 道村静江

2007年12月17日発行 NO.71

『試験問題の点字表記 第2版』は持っていますか？

今年5月に出版した。1999年の初版をそのまま受け継いでいますが、『日本点字表記法 2001年版』が出たことによる表記の修正、そして、大学入試点訳を積み重ねてきたノウハウをさらに盛り込んだ内容になっています。また、第1章で解説文だけだったものが、事例を載せてより見やすくなっています。

この冊子は、大学入試など一般向けに作成された試験問題をどう点訳するか。あるいは点字使用者に関係なく盛り込まれた表や図、指示などをどう点字化するかなどが細かく載っています。

しかし、本校ではここまでの難しい内容・点訳方法は必要ないでしょう。点字問題作成を念頭に置いての問題作成です。とはいえ、参考になることはたくさんあります。

各教科ごとにどのような点訳をしたらよいのか、解答の書き方と訂正の仕方、問題形式ごとの書き方の例がたくさん載っています。一度じっくりと読んでみてください。

校内での試験問題作成では、問題の意図や指示の分かりやすさ・探しやすさが一番重要です。そのためにどのようなレイアウトがいいのか、紙面の使い方をどう工夫すればいいのか、記号・符号の使い方も適切に使わなくてはなりません。

過去に「かわら版59号・60号」で解説しましたが、今回改訂された内容も参考にしながら、もう一度ていねいに解説していきましょう。

試験問題の点字表記 その1

1. 墨字問題作成時に点字化することを意識する。

番号の付け方、記号・符号の付け方をよく考える。

似た物は避けて、区別がしやすいようにします。

数字で使えるのは、 1（裸数字） 1. （1）

カタカナで使えるのは、 ア. （ア） 裸の仮名は使えません。

アルファベットは、小文字大文字の区別があるし、それを書き忘れると大変だし、数字や仮名と前置符号が違うだけなので、あまり使わない方がよいでしょう。でも、大きな区分けとして、大文字のアルファベットを使うことはあります。小文字は選択肢などに使いがちですが、仮名にした方がよいでしょう。また、数字・仮名と使って、他に区別する必要があるれば、アルファベットも有効です。

ローマ数字は、大問だけに使いましょう。でも、あまり使わない方がいいです。

各問題は、大問番号、問題の指示文、問題文、設問、選択肢の順に並べるようにしましょう。指示文が問題文のあとにこないようにします。

指示文を明確に。墨字と点字では当然のことながら指示の仕方が異なる場合があります。点字が不利にならないような配慮と説明が必要です。「上・下」「右・左」などの位置を示すことにも留意しなくてはなりません。

盲学校内では、墨字と点字の時間差は設けていませんし、びっくりするような長文や大量の問題は出題されないと思いますが、設問で問題文を参照するような場合は、早く箇所を見つけられるような配慮と点訳の工夫が必要です。

記号には使い方の意味があるので、自分勝手に使わない。特殊な記号もできるだけ避ける。

図などを参照する場合は、問題文に挿入するのは難しいでしょうから、別紙に作成した方がよいです。あるいは過去に使った資料を参照する場合もあるかもしれませんが、いずれにしても、図の検索を容易にできること、図を参照しながら問題文を解いていけるように、提示の仕方や指示の出し方を工夫しなければいけません。

2. 空白行・区切り線を有効に使う。

<空白行を使う場所>

大問の指示文の直後に、小問の指示文が来る場合、小問の前（指示文が重なる場合）

問題文を読ませた後に、設問が来る場合、その間

設問と設問の間

設問と選択肢群の間

2種類以上の選択肢群がある場合は、それぞれの選択肢群の間

<区切り線は、区切りの段階によって、以下のように使い分ける>

大段階： :: の連続線（レ下がり線）

中段階： :: の連続線（区切り実線）

小段階： :: の連続線（区切り点線）

こうなると、一つの大問の中にいくつも空白行や区切り線が挿入されることになります。となれば、当然大問毎にページを変えた方がよいことが分かります。

3. 選択肢の書き方

今まで、選択肢は行頭4マスあけにして並べる方法もとっていましたが、今回からはその項目が削除されています。絶対に使ってはいけない方法というわけではありませんが、2行に渡る選択肢の場合、2行目の行頭を何マス空けるとよいのかの判断が難しい場合があります。

ですから、空白行を有効に使うことによって、選択肢は行頭2マスあけで並べればよいし、2行に渡る場合は行頭から続けて書くことができます。

もちろん選択肢は、どんなに短くても1行に一つが大原則です。

文章中に選択肢が組み込まれている場合

選択肢毎に行替えせず、選択肢の間を二マスあけにして書き続ける。この場合、一つの選択肢の番号・記号と語句とが2行にまたがらないようにする。

<例>

(1) 基本的人権のうち、(ア．自由権 イ．生存権 ウ．参政権)とは、

(1) キホンテキ ジンケンノ ウチ、

(ア． ジューケン イ． セイゾンケン

ウ． サンセイケン)トワ、